

サッカースタジアム検討協議会委員名簿

- 鵜野 徳文 (公益財団法人広島県サッカー協会 特任理事)
- 加藤 厚海 (広島大学大学院社会科学研究科 准教授)
- 加藤 義明 (公益財団法人広島県体育協会 会長)
- 川平 伴勅 (一般財団法人ひろぎん経済研究所 理事長)
- 小谷野 薫 (株式会社サンフレッチェ広島 代表取締役社長)
- 高木 彬子 (株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 相談役)
- 塚井 誠人 (広島大学大学院工学研究院 准教授)
- 永田 靖 (広島経済大学経済学部 教授)
- 野村 尊敬 (公益財団法人広島県サッカー協会 名誉会長)
- 三浦 浩之 (広島修道大学人間環境学部 教授)
- 山根 恒弘 (公益財団法人広島市スポーツ協会 会長)

サッカースタジアム検討協議会規約

(目的)

第1条 広島におけるサッカースタジアムについて、その規模、建設場所、管理運営方法、事業スキーム、事業収支、類似施設との棲み分けなどといった整備に係る諸課題について議論し、解決策（あるべき姿）を取りまとめ、行政及び経済界へ提案するため、「サッカースタジアム検討協議会」（以下「協議会」という。）を組織する。

(委員)

第2条 協議会の委員は、10名程度とする。

2 委員の任期は、事業の目的が達成されるまでとする。

(会長及び副会長)

第3条 協議会に、委員の互選により会長を置く。

2 会長は、協議会を進行する。

3 協議会に、会長の指名により副会長を置く。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 会議は、会長が招集する。

2 協議会は、必要があると認めるときは、会議に専門家の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第5条 協議会に、事務局を置く。

2 事務局は、公益財団法人広島県サッカー協会内に置く。

3 広島県、広島市及び広島商工会議所は、事務局の運営を支援する。

(経費)

第6条 協議会の運営に要する経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成25年6月3日から施行する。

サッカースタジアム検討協議会について

1 現状と課題

サッカー熱の盛り上がりを背景に、国内外の一定規模の大会の広島開催への期待も高まっているが、その受け入れに適したサッカースタジアムがない。また、Ｊリーグ公式戦についても、広域公園陸上競技場を使用しているが、同施設には次のような課題が指摘されている。

ア 陸上競技の大会開催を優先すべき施設であるにもかかわらず、サンフレッチェ広島のホームゲームを優先しているとの批判がある。

イ 陸上競技場であるため、ピッチとスタンドの距離が遠く、サッカー競技に欠かせない臨場感に欠ける。

ウ 諸室・設備等が日本サッカー協会のスタジアム標準を完全には満たすものになっていない。

エ 自動車で来場する客への設備等が十分ではなく、Ｊリーグ公式戦開催時には周辺で渋滞が発生する。

上記の課題への解決策として、サッカースタジアムの整備が求められており、魅力あるサッカースタジアムは、新たな広島のシンボルとして、広域的な集客効果を高めるなど、広島市ひいては県全体の活性化にも繋がることが期待されている。

2 サッカースタジアム整備に係る諸課題

(1) 永続的・安定的な利用の確保

- ・ 国内外の一定規模の大会の開催
- ・ サンフレッチェ広島の経営状況
- ・ サッカー以外のスポーツとの利用調整等

(2) 長期的なＪリーグの動向等を踏まえた対応

(3) スタジアムの規模・設備

- ・ 観客席数
- ・ 付帯設備（屋根、諸室、個室等）

(4) 建設場所

- ・ 地域活性化への波及効果
- ・ 交通アクセス

(5) 付加する機能・施設

- ・ 経営上付加することが望ましい機能
- ・ まちづくりの観点から導入することが望ましい機能

(6) 建設主体、管理運営方法（運営主体）

(7) 収支計画

- ・ 事業スキーム（建設資金の確保等）
- ・ 事業収支（初期投資、維持管理費、大規模修繕 等）

(8) 経済波及効果

(9) 新たにサッカースタジアムを建設することにより生じる既存の類似施設における課題

3 進め方

サッカースタジアムについては、その整備に係る諸課題への具体的かつ実践的な解決策を策定する必要がある。

(1) 協議会の役割

協議会は、組織の代表ではなく、有識者が個人の立場で、サッカースタジアム整備に係る諸課題について議論し、解決策（「あるべき姿」）を取りまとめ、行政や経済界へ提案する。

(2) スケジュール

- ① 協議会は、概ね月 1 回程度の頻度で開催する。
- ② 協議会における議論については、2 に掲げる諸課題を分類し、関連テーマごとに専門家の意見も参酌しながら検討を加え、一定の方向性を出せるようにする。
- ③ 平成 25 年度末ごろに中間取りまとめ、平成 26 年秋を目途に最終取りまとめを行う。

広島広域公園 陸上競技場「エディオンスタジアム広島」の概要

1 施設概要

- (1) 開設 平成5年(1993年)4月
- (2) 収容人員 50,000人
- (3) 施設概要 第一種公認陸上競技場、全天候舗装トラック(400m×8レーン)、天然芝フィールド

2 利用状況

(1) これまでの大規模大会等の開催実績

① スポーツイベント

- 平成6年(1994年) 第12回アジア競技大会広島1994
- 平成8年(1996年) 第51回国民体育大会秋季大会(ひろしま国体)

② 陸上競技

- 平成5年(1993年) 織田幹雄記念国際陸上競技大会(以降毎年開催)
- 平成21年(2009年) 第93回日本陸上競技選手権大会

③ サッカー

- 平成6年(1994年) サンフレッチェ広島J1公式戦(以降毎年)
(2011シーズン 年間19試合)
- 平成6年(1994年) キリンカップサッカー(平成7、12、16年にも開催)

④ コンサート

- 平成14年(2002年) B'z
- ” スマップ
- 平成15年(2003年) スマップ
- 平成19年(2007年) Mr. Children
- 平成22年(2010年) EXILE(2日間)
- 平成23年(2011年) Mr. Children

(2) 平成23年度(2011年度)利用状況

利用件数	利用者数	観客数
197件	約8万2,000人	約34万3,000人
うちサンフレッチェのJリーグ 試合 19件	—	約25万9,000人

3 収支状況

(広島広域公園全体)

区 分	平成 21 年度 (2009 年度)	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 23 年度 (2011 年度)
収 入	約 1 億 5, 9 0 0 万円	約 1 億 8, 9 3 0 万円	約 1 億 6, 2 6 0 万円
陸上競技場 (うちフットサルコート)	約 1 億 4 7 0 万円 (約 8, 830 万円 : 84%)	約 1 億 3, 5 6 0 万円 (約 8, 170 万円 : 60%)	約 1 億 8 7 0 万円 (約 6, 510 万円 : 60%)
テニスコート等	約 5, 4 3 0 万円	約 5, 3 7 0 万円	約 5, 3 9 0 万円
支 出	約 3 億 9, 8 9 0 万円	約 4 億 2, 6 0 0 万円	約 4 億 1, 6 4 0 万円
差引 (収入－支出)	▲約 2 億 3, 9 8 0 万円	▲約 2 億 3, 6 7 0 万円	▲約 2 億 5, 3 8 0 万円

4 課題及びその対応

- (1) 平成 5 年 (1993 年) の開設以降、ほぼ 20 年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、施設所有者の広島市が、昨年度は照明設備の改修を実施し、今年度は大型映像装置の不具合に対し 7 月初旬を目途に仮設による大型映像装置を設置する予定
- (2) 広島市では、こうした大規模修繕の財源の確保を図るため、平成 25 年 (2013 年) 3 月から陸上競技場に命名権を導入

【命名権の実施】

呼 称 「エディオンスタジアム広島」

期 間 平成 25 年 (2013 年) 3 月から 3 年間

命名権料 年間 3, 300 万円